



1. 福岡タワー
2. ホテル海の中道
3. アクロス福岡
4. 香椎宮参道のクス並木
5. 福岡ドーム
6. シーサイドももち
海浜公園



都市景観賞キャンペーン

10月27日(土)、天神地下街イベントコーナーで、都市景観賞キャンペーンを行った。過去14年間に都市景観賞一般表彰を受賞した作品をパネル展示し、来場者に人気投票をしてもらうというもの。724通の来場者アンケートの結果、最も好きな作品は

- 1位 ホテル海の中道
 - 2位 アクロス福岡
 - 3位 香椎宮参道のクス並木
 - 4位 福岡市博物館
 - 5位 「博多町家ふるさと館」という結果だった。
- また、最も福岡らしい作品は
- 1位 福岡タワー
 - 2位 福岡ドーム
 - 3位 シーサイドももち海浜公園
 - 4位 「博多町家ふるさと館」
 - 5位 福岡市博物館
- の順だった。いずれも周辺の自然や街並みを上手く取り込んだ景観である。来場者には81の受賞作品をとて熱心に見ていただき、アンケートにも多くの書き込みをしていただいた。中でも意見が多かった「自然と調和した景観」「他の都市にない福岡の個性を生かした景観」「歴史や伝統、文化を生かした景観」に市民が望む福岡の景観像が現れている。




景観ウォッチング

11月17日(土)、過去の受賞作品を景観審査委員の解説を聞きながら「街並みの歴史」「植栽と空間」「都心部の景観」の3コースに分かれて見て回る「景観ウォッチング」を行った。普段入る機会のない歴史ある建物を見たり、講師のちよつといい話に得した気分になったり、オープンカフェでお茶を飲んだりと楽しいウォッチングになった。日頃見慣れた場所でも話を聞きながら改めて見つめ直す、また新たな発見がある。気になる建物や空間があったら外を通り過ぎるだけではなく、そこで暫く時を過ごしてみたいかがだろうか。そしてその空気、匂い、風音、居心地の良さを実際に肌で感じてほしい。そうすることで初めて見えてくる景観というものもある。一度楽しみながらまちをじっくりウォッチングしてみよう。歩いているうちに「ここがいいよね。」とか「ここがへんだよね。」というものが見えてくる。その見る目を育てていくことが、美しく風格ある福岡の都市景観をつくるうえで、大きな力になっていくにちがいない。

編集後記

まちを彩るさまざまな要素に目を向けてみると、どれもその空間の中で大切な意味を持っていることがわかります。日ごろ何気なく通り過ぎ、よく知っているつもりのもので改めて見てみるとまた違ったものが見えてきます。都市景観の良し悪しは、そこに住む市民の意識の高さにあるといわれています。私たち一人ひとりが関心を持ってまちを見続けていくことが、福岡の景観形成につながるのです。さあ、あなたも街あるきに出かけませんか。そして、自分のお気に入りの景観を、たくさん見つけてください。(Y)



彩都 第7号 2002年2月
発行/福岡市都市整備局
都市管理課 都市景観室
〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号
TEL.092-711-4395
編集/福岡市都市整備局
都市管理課 都市景観室
株式会社ジーエータップ
表紙デザイン=古賀 俊雄
アートディレクション=栗田 克則
デザイン=中島 恵
撮影=水崎 浩志(ループフォトクリエイティブ)
コピー=野田 結祐子
※本誌掲載の写真・記事の無断転載及び複写を禁じます